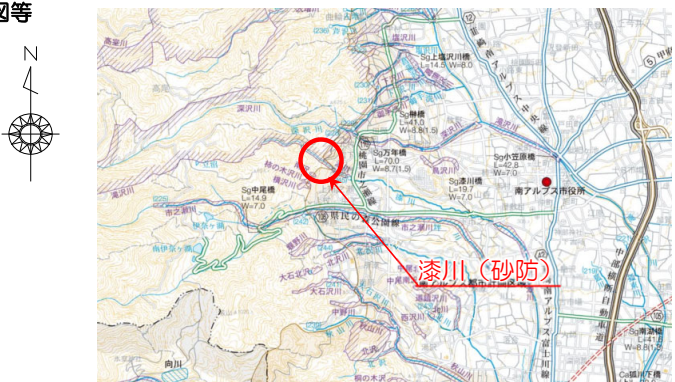
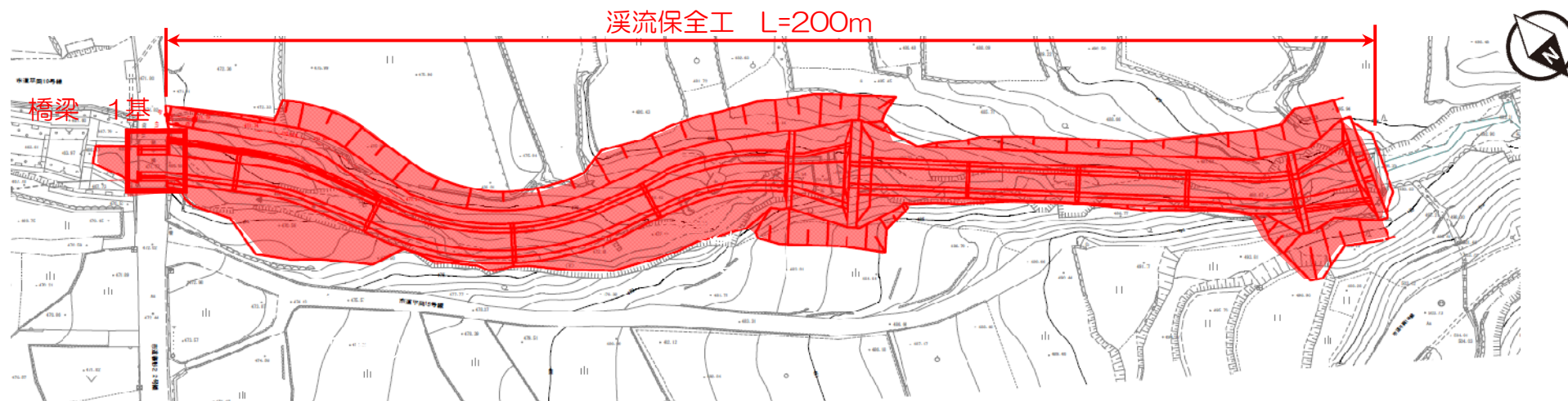


1. 事業説明シート

<p>事業名 砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]</p>	<p>事業箇所 南アルプス市平岡</p>	<p>地区名 漆川 (うるしがわ)</p>	<p>事業主体 山梨県</p>																																						
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 本溪流は、流域面積1.06km²の土石流危険溪流であり、土砂災害警戒区域に指定されている。渓床勾配が1/7程度と急勾配であり、局所的に護岸工や落差工が配置されているが、大部分が自然河道となっている。近年頻りに接近する台風に伴う豪雨やゲリラ豪雨等により渓岸侵食が進み、土砂流出や繁茂する竹林の倒壊・流出が生じて流下阻害原因となっている。現保全対象には人家39戸のほか、地域防災計画上で避難所（楡形西小学校）や要配慮者利用施設（楡形西保育所）等があることから、砂防施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 68% < 70%未満※ ・重要公共施設の有無 有 避難所(楡形西小学校) (保全対象=人家39戸、避難所(楡形西小学校)、要配慮者利用施設(楡形西保育所)、県道800m、その他道路3,600m、橋梁1基等)</p> <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次目標 - □副次効果 -</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <table border="1" data-bbox="1097 454 1948 670"> <tr> <td>総事業費</td> <td>360 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R14</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>298 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">777 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>296 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">196 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">14 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">51 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">516 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.6</td> </tr> </table> <p>※その他は、応急対策（家計）、人的被害（精神的損失） 費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設設計画とした</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を実施し、環境負荷に配慮</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいている</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク：a]</p>		総事業費	360 百万円	工期	R7~R14	基準年	R6	経済効率性	費用	298 百万円	便益	777 百万円		建設費	296 百万円	一般資産被害抑止	196 百万円		維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑止	14 百万円				人身被害抑止	51 百万円				その他※	516 百万円		B/C			2.6		
総事業費	360 百万円	工期	R7~R14	基準年	R6																																				
経済効率性	費用	298 百万円	便益	777 百万円																																					
	建設費	296 百万円	一般資産被害抑止	196 百万円																																					
	維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑止	14 百万円																																					
			人身被害抑止	51 百万円																																					
			その他※	516 百万円																																					
B/C			2.6																																						
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 ・溪流保全工 L=200m 橋梁 1基</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和14年度</p> <p>④総事業費 約360百万円（国費180百万円(5/10)県費180百万円(5/10)）</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円 令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 20 百万円 令和9~12年度 溪流保全工事 220 百万円 令和13~14年度 橋梁工事 100 百万円</p> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>		<p>(4) 事業位置図等</p> 																																							
<p>⑥既整備内容・期間・事業費 ・砂防堰堤 3基</p>																																									

2. 添付資料シート



- 【凡例】
- 既設砂防堰堤（透過）
 - 既設砂防堰堤（不透過）
 - 流域境界
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 計画基準点

